

中央アジア・コーカサス総合防災行政 Comprehensive Disaster Risk Reduction for Central Asia and Caucasus		継続	
対象国の条件 : 中央アジア・コーカサス地域			
研修コース番号 : J1804121		案件番号 : 1884496	
主分野課題 : 水資源・防災/総合防災			
副分野課題 : 水資源・防災/地震災害対策			
使用言語 : 露語			
案件概要			
本研修は、中央アジア・コーカサス地域における防災・減災能力の向上を目的とし、同地域内の中央・地方府の防災担当者を対象とした研修である。本研修では、日本が蓄積してきた自然災害への取組みを法制度、行政機構、関係機関の役割等に関する基本的な知識や経験を共有し、本研修を通じて研修員は自らの国における仙台防災枠組の実施に係る問題点等を確認し、それを解決するための具体的なアクションプランを作成する。			
目標／成果		対象組織／人材	
【案件目標】 各国における仙台防災枠組の実施に向け、参加者の所属組織における防災・災害管理システムを改善するためのアクションプランを作成する。 【成果】 1. 日本における防災行政の制度・仕組みについて理解する。 2. 災害対応における民間企業や非政府組織など（国・地方政府以外）の役割を理解する。 3. 日本における災害ごとの対応を理解する。 4. 上記を踏まえ、仙台防災枠組実施に向けた各国の課題解決のためのアクションプランが作成される。		【対象組織】 防災・減災に関係する中央省庁又は地方政府 【対象人材】 中央政府又は地方政府において防災関係業務に従事している者で、大学卒業又は同程度の学力を有し、防災分野での実務経験が2年以上ある者	
内 容			
【事前活動】 ・ カントリーレポートの作成 【本邦研修】 ・ 日本の防災行政（中央政府、地方自治体） ・ 日本の防災教育 ・ 日本の災害統計 ・ 日本における自然災害予警報システム ・ 日本における防災情報システム ・ 日本における災害種別防災対策（地震、風水害、土砂災害） ・ 日本におけるコミュニティ防災活動の位置づけと取組 ・ タウンウォッチング手法によるハザードマップの作成 ・ 災害時のコミュニティラジオの活用 ・ 日本における災害とジェンダーの取組 ・ アクションプランの発表		本邦研修期間	2018/6～2018/7
		担当課題部	地球環境部
		所管国内機関	JICA関西（業務一）
		関係省庁	
		実施年度	2016～2018
主要協力機関	アジア防災センター		
特記事項 及び ホームページ			